

「企業リスクマネジメントニュース」 ～熱中症リスク編～



損害保険ジャパン株式会社
代理店：(株)みのり保険事務所

統計上、熱中症リスクの高い業種は、以下のとおりです。

- ◆屋外作業従事者
建設業・農業・運輸業・清掃業・警備業
- ◆屋内作業従事者
飲食業・製造業・物流倉庫作業員・介護施設職員・イベントスタッフ

**2025年6月1日より、厚生労働省が労働安全衛生規則を改正し
職場の熱中症対策が罰則付きで義務化されました。**



1. 従業員への意識啓蒙と教育

熱中症の危険性と症状について周知徹底：従業員全員が熱中症の危険性を理解し、早期発見・対応ができるように、ポスター掲示、説明会、研修などを通して周知徹底しましょう。

予防のための行動指針を共有：適切な水分補給、休憩の重要性、服装の工夫など、具体的な行動指針を共有し、従業員一人ひとりが意識して行動できるよう促しましょう。

体調不良時の対応について明確化：体調不良を感じた際の報告方法、休むことの重要性などを明確化し、従業員が安心して休める環境を整えましょう。

2. 職場環境の改善

適切な喚起と温度管理：職場環境の温度と湿度を適切に管理し、涼しい環境を確保しましょう。扇風機や冷風機などの設備導入も検討しましょう。

休憩スペースの確保：従業員が休憩できる涼しい場所を確保しましょう。休憩スペースには、冷房設備や水分補給用の飲み物などを用意しましょう。

作業時間の調整：暑さが厳しい時間帯は、作業内容や時間を調整し、屋外作業を避けるなど工夫しましょう。



**熱中症
予防**

3. 健康管理体制の構築

健康チェックの実施：毎朝、従業員の体調チェックを行い、体調不良者には適切な対応をしましょう。

応急処置の体制整備：熱中症の症状が出た場合に備え、応急処置の方法を習得し、必要な資材を準備しましょう。

医療機関との連携：体調緊急時に対応できるよう、近くの医療機関との連携を強化しましょう。

4. その他対策

対策グッズの支給：帽子、日傘、冷却タオル、塩分チャージタブレットなどの暑さ対策グッズを支給しましょう。

従業員への情報提供：気象情報や熱中症に関する情報を定期的に提供し、従業員が最新の情報を把握できるようにしましょう。

労働時間管理の徹底：労働時間の管理を徹底し、長時間労働による疲労を軽減しましょう。これらの対策を段階的に実施することで、従業員の安全確保と事業継続に貢献できます。

- 
- ・従業員の意識啓蒙と教育は、熱中症の基礎となるため、最も優先順位が高いです。
 - ・職場環境の改善は、従業員が安全に作業できる環境を作るために重要です。
 - ・健康管理体制の構築は、従業員の健康状態を把握し、万が一の事態に備えるために必要です。
 - ・その他対策は、従業員の負担を軽減し、熱中症対策をより効果的に行うためのものです。
 - ・中小企業では、規模や業種によって、必要な対策が異なります。自社の状況に合わせて、適切な対策を検討し、従業員の安全確保に努めましょう。

